



■三井不動産グループでは、グループロゴである「 (アンド)」マークに象徴される「共生・共存」、「多様な価値観の連繋」の理念のもと、グループビジョンに「&EARTH (アンド・アース)」を掲げ、当社グループのまちづくりが常に地球とともにあることを認識し、人と地球がともに豊かになる社会をめざしています。

\*「 (アンド)」マークの理念とは、これまでの社会の中で対立的に考えられ、とらえられてきた「都市と自然」「経済と文化」「働くことと学ぶこと」といった概念を、「あれかこれか」という「or」の形ではなく、「あれもこれも」という形で共生・共存させ、価値観の相克を乗り越えて新たな価値観を創出していくもので、平成3年4月に制定されました。

以 上

\*補足

【住宅・住宅設備部門】

商品住宅、工業化住宅、個人住宅、集合住宅など

【生活のためのサービス・システム部門】

交通安全サービス、家庭用エネルギー管理システム、子育て支援サービス、  
トレーサビリティサービス、介護支援サービス など

## <添付資料>各プロジェクト概要

### 1. 【パークシティ柏の葉キャンパス 二番街】千葉県柏市（住宅・住宅設備部門受賞）

「パークシティ柏の葉キャンパス 二番街」は公民学が連携して街づくりが進む柏の葉キャンパスシティに誕生する、敷地面積約3万㎡、総戸数880戸の大規模集合住宅。集合住宅の計画を街づくり全体の計画と並行して行うことにより、街との連動性を最大限配慮し、周辺環境・開発計画とした。新しい集合住宅の在り方として、このマンションに住む人と街が積極的に繋がり、コミュニケーションを通じ地域の一員として街への愛着を育んでもらうことを目指し、共用部である中庭部分を街に開放し、ここを中心とした『街に開かれ地域と繋がる集合住宅』をデザインした。

事業者：三井不動産レジデンシャル株式会社

所在地：柏都市計画事業柏北部中央地区一体型特定土地地区画整理事業地内147街区（保留地）  
千葉県柏市若柴大割227-6の一部他（底地地番）

交通：つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅徒歩5分

敷地面積：31,923.90㎡

延床面積：A棟：15,448.05㎡、B棟：16,209.14㎡、C棟：29,576.05㎡、D棟：29,901.50㎡  
E棟：3,630.71㎡、F棟：17,692.97㎡

総戸数：880戸（A棟136戸、B棟135戸、C棟232戸、D棟232戸、E棟30戸、F棟115戸）  
\*他店舗あり

構造規模：鉄筋コンクリート造

A・B棟：地上14階建、C・D棟：地上25階地下1階建、E・F棟：地上7階建

専有面積：42.30㎡～142.46㎡

設計・施工：株式会社鴻池組

着工：平成20年12月21日

竣工：A・B棟：平成23年3月竣工済、C棟：平成24年10月竣工済、  
D棟：平成24年11月竣工済、E・F棟：平成22年4月竣工済

#### <審査員評価コメント>

共用空間を配して街に開き、街全体のコミュニティの拠点となる活動の場を提供している。その積極的な姿勢は、現状の民間分譲マンションの共用空間への示唆的な価値を持つだろう。デザインも、人のアクティビティに対して丁寧な配慮がなされており、洗練されている。



街の交流を育む共用施設群「コモン」。中庭として地域に開放。  
10以上の共用施設と、気づきを生み出すアートワークなどを設置



駅前から続く、緑豊かなメインストリート

## 2. 【パークタワー芝公園】東京都港区（住宅・住宅設備部門受賞）

芝公園、増上寺に隣接し、港区という都心立地。都心密集エリアの限られた敷地において、居住面積を確保しつつ空地率を広げるために「港区住宅型総合設計制度」を適用し、居住性と地域環境向上との両立を目指した新しい住空間デザインを提案。行政や近隣住民と協議協力を経て条例や制度を有効活用して開発した結果、南側の公開空地と既存の児童遊園の一体整備で緑豊かな明るい足元環境を創出するなど、地域貢献と環境調和を考慮した全98戸のタワー型マンションを誕生させ、新たなコミュニティを創造した。

事業者：三井不動産レジデンシャル株式会社

所在地：東京都港区芝3丁目12番

交通：都営三田線「芝公園」駅徒歩4分、都営大江戸線「赤羽橋」駅徒歩4分、  
JR山手線「田町」駅徒歩11分

敷地面積：1,231.35㎡

延床面積：9,354.92㎡

総戸数：98戸

構造規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上24階・地下1階・PH1階建

専有面積：43.41㎡～116.16㎡

設計・施工：清水建設株式会社

着工：平成23年3月15日

竣工：平成24年12月竣工済

### <審査員評価コメント>

都心の高層マンションという枠組みの中で、極めて難しい構造を巧みに構築しており、デザインも洗練されている。ともすれば失われがちな住民同士、また近隣住民とのコミュニティ形成に特に配慮した計画と、そのプロセスを実現しており、周辺環境の向上にも寄与する提案である。



「白」を基調としながら「ガラス」を多用し、  
都心にいながら広大な空や緑と一体化した外観デザイン



南側の公開空地と既存の児童遊園の一体整備で緑豊かな明るい足元環境

### 3. 【パークシティ武蔵野桜堤桜景邸】東京都武蔵野市（住宅・住宅設備部門受賞）

パークシティ武蔵野桜堤桜景邸は桜堤の風景を継承し、豊かな環境の享受を目指した集合住宅である。ランドスケープは既存樹を残し、周辺環境に呼応するデザインを計画。建物は環境資源を暮らしの中に採り入れるべく、専有部は光や風を感じられるように、共有部は常に緑を感じられるようにデザインした。また、本敷地西側の当社先行計画「パークシティ武蔵野桜堤」と合わせて約3.5haの一体開発地で、連携した広大な面積の環境保全、公開空地の整備を行うことによって、居住者だけでなく地域住民への貢献も目指した。

事業者：三井不動産レジデンシャル株式会社

所在地：東京都武蔵野市桜堤二丁目 1645 番 6（地番）

交通：JR 中央線「武蔵境」駅北口 小田急バス 10 分「西一番通り」バス停 1 分、  
JR 中央線「武蔵境」駅北口徒歩 20 分、JR 中央線「東小金井」駅北口徒歩 19 分

敷地面積：1,231.35 m<sup>2</sup>

延床面積：9,206.62 m<sup>2</sup>

総戸数：145 戸（他店舗 2 戸）

構造規模：鉄筋コンクリート造地上 9 階建

専有面積：70.63m<sup>2</sup>～97.48m<sup>2</sup>

設計・施工：株式会社長谷工コーポレーション

着工：平成 23 年 7 月 6 日

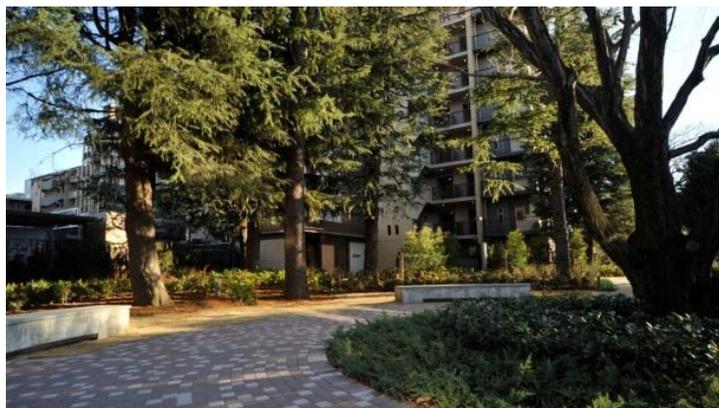
竣工：平成 25 年 2 月竣工済

#### <審査員評価コメント>

「武蔵野の森との共生」をテーマに掲げ、既存樹木を極力残して武蔵野らしい風景を継承しようとしている点が評価できる。新規にも桜を植えたりすることで、桜並木を再生させ、桜堤らしい風景を復活させているのも良い。敷地の持つ環境資産を保全し、受け継いでいくことは事業主の非常に重要な役割であると思う。



家族・住民・地域がつながる、防災に配慮した公園のある住宅開発



既存樹を中心に配置された「武蔵野の庭」



地域に開かれた緑道として、桜並木を整備

#### 4. 【パークタワー高輪】東京都港区（住宅・住宅設備部門受賞）

アクティブシニアの都市住居をデザインする、というテーマの下で生み出された可変性と多目的性を有する斬新な居住空間。様々なシチュエーションに合わせて簡単な操作でプランの形態を大きく変更することができる。可動間仕切りに囲まれた「なにものでもない空間」は、生活の様々なシーンに合わせた使い方ができる。住まい手が住まいのプランに合わせて生活してきた従来の「nLDK」に対して、住まい手のライフスタイルや家族形態の変化に応じてプランを変化させられる住まいを提案。

事業者：三井不動産レジデンシャル株式会社

所在地：東京都港区高輪三丁目 11 番 1 号

交通：都営浅草線「高輪台」駅徒歩 1 分、JR 山手線「五反田」駅徒歩 10 分、  
JR 線・京浜急行線「品川」駅徒歩 11 分、  
東京メトロ南北線・都営三田線「白金台」駅徒歩 13 分

敷地面積：961.27 m<sup>2</sup>

延床面積：8,741.95 m<sup>2</sup>

総戸数：92 戸（事業協力者住戸含む）

構造規模：鉄筋コンクリート造 地上 21 階地下 2 階建

専有面積：38.65m<sup>2</sup>~78.50m<sup>2</sup>

設計・施工：大成建設株式会社

デザイナー：久曾神 倫

着工：平成 22 年 11 月 29 日

竣工：平成 25 年 1 月竣工済

##### <審査委員評価コメント>

高層分譲住宅の 1 住居ユニットに対する提案であるが、通常の水回りなどの設備条件を踏襲しながら、大胆な発想により、すべての居室をむすびつける「なにものでもない空間」を生み出して、アクティブシニアのための都市住居のプロトタイプとして、極めて斬新な住居空間を実現させた。独創的であると同時に極めて高い汎用性を併せ持っている。



なにものでもない空間



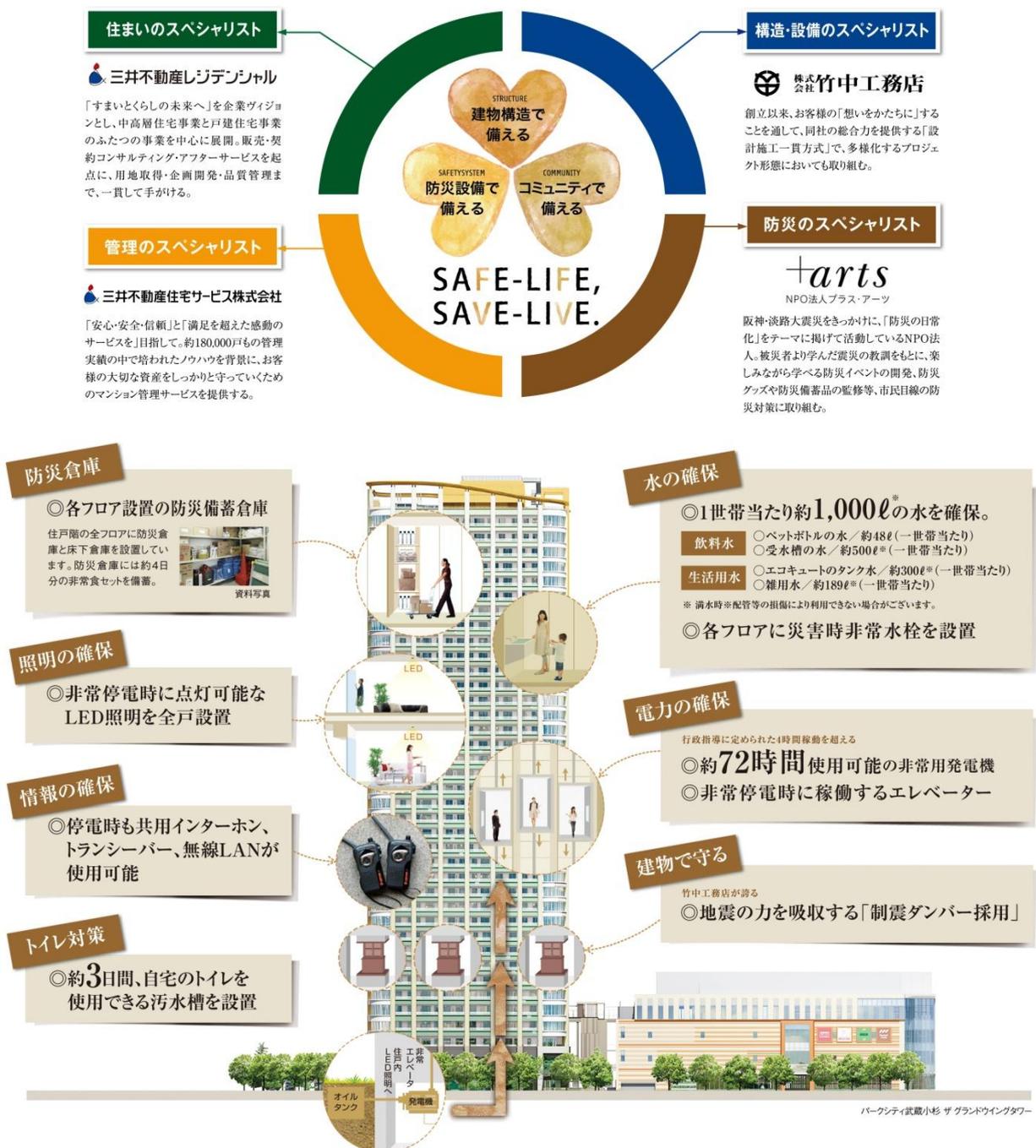
各居室が壁でゆるく仕切られながらも全体がワンルームにつながる間取り

## 5. 【パークシティ武蔵小杉ザ グランドウィングタワーの防災マンション計画】 (生活のためのサービス・システム部門受賞)

東日本大震災を機に高層マンションに対する震災時の不安が広まったことを受けて、当初設計を全体的に見直し、住民が安心して暮らせるよう、今後の高層マンションにおいてモデルとなるような防災対策を計画。高い技術力に裏付けられた「建物の制震構造」に加え、震災後の被災生活において特に重要となる電気、水、食料、トイレ、情報等の「防災設備」「防災備蓄品」に関する対策、さらにそれらを有効に活用するための「コミュニティ」の育成を大きな柱とし、万一の事態に複層的に備えるプログラムを構築。入居後にも防災マニュアルブックやコミュニティイベントを通して、真に「安心して過ごせる」防災マンションを総合プロデュースした。

### <審査員評価コメント>

タワーマンションの防災対策にたいへん真摯に取り組んでいる。タワー全体の震災対策に加えて各フロアに設置される防災備品など住民の安心をはかる注意が行き届いている。今後の高層マンションにおける対策のリファレンスとなりえるレベルである。



4社を結集し、高層マンションの防災システムをデザイン (上)

タワーマンションに特化し、非常時の電力供給、各フロアへの水の供給などの防災設備を採用した防災システム